



- ☆生き生きとした内川の子ども
- ・進んで学び、よく考える子ども
- ・思いやりのある、やさしい子ども
- ・元気で、たくましい子ども

## 落語の世界を楽しみました！

10月29日（火）、落語家の三遊亭遊馬（さんゆうてい ゆうば）師匠に来ていただき、次代を担う子どもの文化芸術体験事業の「落語教室」が行われました。

この事業は、東日本大震災復興支援対応のもので、福島県内において、子どもたちを中心とした文化芸術活動を提供する事業を実施することによって、子どもたちが健やかで安心できる環境の醸成を図るとともに、円滑な地域の復興に資することを目的とし、県内の保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校等に講師を派遣し、120ヵ所程度で実施されています。

本校では、音楽（クラシック・ポピュラー・伝統音楽等）、演劇、伝統芸能（落語・能楽・日本舞踊等）、身体表現（ダンス・パントマイム）、文学（朗読）、その他（大道芸・紙芝居）の6分野から、子どもたちに日本の伝統芸能である「落語」に触れさせたいと考え応募し、今日の日が実現しました。

落語は噺の最後に「オチ」がつくのが特徴。噺が落ち着くから「落語」。身振りと手振りのみで噺を進め、一人何役をも演じます。扇子や手ぬぐいの小道具を使いながら、演者の技巧と聴き手の想像力で噺の世界が広がっていく、落語の世界を楽しみました。

また、おそばを食べる芸を教わり、代表して6年生児童と校長がステージに上がり芸を披露しました。とても難しかったです。遊馬師匠の落語の世界に引き込まれ、笑顔がいっぱいの楽しい体験になりました。関心・感動・感謝の「3かん王」！ありがとうございました。



楽しかったね





# 世界でひとつだけの草木染めに感動！

10月30日(水)2・3校時、森の案内人の佐川英子さんを講師に招いて、「草木染め体験」が行われました<緑の少年団活動>。前日の事前研修会で体験した先生方が各班に入り、ビー玉や洗濯バサミ、割り箸、ひもなどを使うとどんな模様になるのかを教えました。子どもたちは出来上がりの模様を想像しながら布を折ったり、ビー玉を輪ゴムでくるんだりしていました。それをミョウバン液(先媒染)につけて、脱水したものを、染色します。今回は、栗と紅茶、ブルーベリーの3色です。好きな色を選び、色の濃さを考えながら液につけます。最後に水洗いし脱水し出来上がりです。



出来上がった模様を見て「こんな模様になるんだ。すごい。きれいだ。」と声があがります。笑顔がいっぱいの体験になりました。前日から準備をしてくださった佐川さん、ありがとうございました。関心・感動・感謝の体験学習になりました。

## 写真で振り返る草木染め体験



どんな模様になるのか考えながら作っています

紅茶で色を染めています。きれいな茶色です



出来上がった布をミョウバンの液につけないと色が染まらないことを知りました。おそろべし、ミョウバン！ティムス先生も楽しそう！



ブルーベリー

紅茶



子ども達と先生方の作品！「きれい」



ティムス先生のデザインも素敵ですね

佐川先生と一緒に！

